

広島県中学校陸上競技選手権大会 競技注意事項

- 1 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。
- 2 決勝進出について
 - ・トラック競技は着順またはタイムによって決勝進出者を決定する。着順判定は1/1000秒まで行い、同タイムが規定人数を上回る場合は抽選を行う。
 - ・短距離種目は上位8位までが決勝に進出する。
 - ・決勝のレーン順は、番組編成の際、本部で決定する。
 - ・長距離種目の決勝進出は以下のように定める。※()は決勝に進出人数
 - [着順予選] 1年男子1500m(15名)、2年男子1500m(15名)、1年女子800m(12名)
 - [タイム予選] 共通男子800m(12名)、2・3年女子800m(12名)、共通女子1500m(15名)、男子3000m(18名)
 - [タイム決勝] 3年男子1500m
 - ・走幅跳は上位12名が決勝に進出する。
- 3 セパレートレーンでの競技は、接触事故防止のためゴール後はレーンに沿ってカーブする。
- 4 競技用シューズの扱いについて
 - ・競技に使用するスパイクのピンは、全天候型で長さは9mm（走高跳は12mm）を超えてはならない。また、ニードルピンの使用はできない。
 - ・競技用靴底における最大の厚さは、すべての種目において、20mm以内でなければならない。【TR5.2】
- 5 ハードルの高さ・インターバルは次のとおりとする。

男子	110mH	高さ	91.4cm	インターバル	13m72	—	9m14	—	14m02
女子	100mH	高さ	76.2cm	インターバル	13m00	—	8m00	—	15m00
- 6 投てき種目の重さは次のとおりとする。

[砲丸投]	男子(5.0kg)	女子(2.721kg)
[四種競技・砲丸投]	男子(4.0kg)	女子(2.721kg)
- 7 共通走高跳・共通棒高跳のバーのあげ方は次のとおりとする。

[走高跳]	
男子	1m40—45—50—55—60—65—70—73 【以後3cmずつ】(練習:1m40と1m55)
女子	1m20—25—30—35—40—45—48 【以後3cmずつ】(練習:1m20と1m35)
[四種競技]	
男子	1m20—25—30—35—40—45—50—55—58 【以後3cmずつ】(練習:1m20と1m35)
女子	1m15—20—25—30—35—38 【以後3cmずつ】(練習:1m15と1m30)
[棒高跳]	
男子	2m20—40—60—80—3m00—20—40 【以降10cmずつ】
- 8 四種競技の砲丸投の試技は3回までとする。
- 9 フィールド種目の試技は、開始の合図から1分以内に試技を始めなければならない。【TR25.17】
(残っている競技者数が4人以上の場合)

10 アスリートビブスについて

- ・競技者は、チーム名入りアスリートビブスを胸背部に正しく付ける。
 - ・走高跳・走幅跳・棒高跳については、胸部・背部のどちらかだけでもよい。
 - ・アスリートビブスのない競技者は出場できない。
 - ・トラック競技の出場者(リレーはアンカーのみ)は、腰ナンバー標識を招集所で受け取り、右腰のやや後方につける。(安全ピンを各自12本準備する)
 - ・競技終了後にゴール地点で返却する。
 - ・中長距離種目の選手については、次のようにアスリートビブスをつける。
 - 「800m は、胸も背中も学校・チームビブス」
 - 「1500m は、胸がアスリートビブス、背中は学校・チームビブス」
 - 「3000m は、胸も背中もアスリートビブス」
- ※競技運営上、変更もありうるので、それぞれ学校・チームビブスを準備しておく。

11 招集について

- ・招集開始時刻・完了時刻は、プログラムに記載されているとおりとする。
- ・招集は第4コーナー入口の招集所で行う。ユニフォーム、学校・チームビブス、スパイクなどを持参し競技ができる準備をして招集完了時刻までに点呼を受ける。
- ・競技者は、招集所で指示経路に沿って競技場所へ向かい、競技終了後も指示された経路、ゲートより退場すること。正面スタンド前是通过することができない。
- ・リレーのオーダー用紙は、学校受付または招集所で受け取り、予選・決勝とも各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出する。提出が遅れた場合は失格となる。なお、当初エントリー(6名)以外の競技者が出場の場合はその出場種目、プロ掲載ページを記載し、競技者係に提出する。【TR24.10】【TR24.11】
- ・多種目を兼ねて出場する選手で招集時刻等が重なる場合は、「多種目同時出場届」を提出する。

多種目同時出場届は競技中で招集を受けることができない場合について配慮するものであり、競技の進行に対する配慮ではありません。

種目が重なっている場合は各自が競技の進行やラウンドの状況を把握し、各自の判断で競技場所に移動すること。その場を離れる時や、競技に戻ってきた時には、その都度競技役員にその旨を伝えること。

【TR25.19】

- ・代理人により招集は原則認めない。ただし、リレーと他競技を兼ねている選手で、競技中のためリレーの招集に行けない場合は、同じチームの選手がその旨を競技者係に伝えることができる。
- ・招集を受けていない、または招集時刻に遅れた競技者は、出場する意思がないとみなし、当該種目に出場することができない。
- ・競技を棄権する場合、予選・決勝を問わず欠場届けを競技者係に提出すること。用紙は招集所に用意する。
- ・招集所には競技者以外、立ち入ることはできない。

12 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできないため、事前に商標を隠すためのテープを貼るなどの準備をしておく。

13 練習会場の使用について

- ・メイン競技場・補助競技場とも所属団体の選手並びに顧問・指導者以外の立ち入りはできない。
- ・各団体からの練習用具の持ち込みはできない。
- ・競技役員の指示に従い練習を行う。

[メイン競技場] (トラック種目のみ)

両日とも 8:20～8:50 準備ができ次第、放送で案内後から練習可能。

1～2 レーン → 中長距離優先レーン

3～6 レーン → 短距離・リレー優先レーン (リレー練習は第2・第3コーナーで行う)

7～8 レーン → ハードル優先レーン (110mH: 8 レーン、100mH: 7 レーン)

※トラック内の芝生部分は使用できません。

[雨天練習場]

- ・雨天の場合のみ使用を可能とする。

[補助競技場]

- ・ハードルやスタブローは会場に設置してあるものを共用して使うこと。

1～2 レーン → 中長距離用周回レーン

3～6 レーン → 高速レーン (短距離やバトン練習等)

- ・ホームストレートの5～8レーンは時間帯によりハードル練習レーンとしフレキハードルを設置 (男女各2レーン、5台ずつ設置。それぞれインターバルを変えた練習レーン。)
- ・補助競技場内での投てき練習は禁止。(メディシンボールも不可)

14 記録は正面玄関ロビー付近にて掲示・発表する。

15 表彰は、各種目の8位まで (リレーも8位まで) の入賞者に表彰状を授与する。
競技終了後、順位が確定したら、すみやかに正面ロビーに集合すること。

16 本大会は第52回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録指定突破大会とする。

17 本大会は第59回中国中学校陸上競技選手権大会 (山口県) の選手選考会とする。

- ・男女各種目 (リレーを除く) とも、上位3位までが、広島県代表の権利を得る。
 - ・リレーは男女とも優勝校が広島県代表チームとしての権利を得る。
- ※中国大会の開催県のみリレーは3チーム出場することができる。

広島県中学校陸上競技選手権大会 連絡事項

1 団体受付・役員受付について

- 7：00 開場
- 7：30～ 団体・競技役員受付(正面玄関ロビー)
- 8：30～ 全体打ち合わせ(競技運営室)
- 9：00 開会式(スタンド) 2日目競技終了後 閉会式(スタンド)

2 競技役員について

- ・競技役員は、その任務中は、任務に徹し、選手に対する助言、助力を行わないようにして、公正中立な立場で審判業務にあたってください。
- ・欠席等により役員が不足するようなことがあれば、引率の先生に競技役員をお願いすることがあります。審判ができるよう服装等は用意しておいてください。
〔服装〕 男性：白の半袖カッターシャツかポロシャツ、グレーのズボン
女性：白のブラウスカポロシャツ、グレーか紺の服装

3 開場と待機場所について

- ・両日とも7：00開門をします。けが防止のため、走らないようにしてください。
- ・地区ごとに割り振られた場所で待機をお願いします。
- ・コーンマーカーで場所取りは禁止とします。
- ・待機場所を確保する際には、ゆずり合って必要最小限にとどめてください。
- ・一日ごとに荷物は撤去し、ベンチなどは元の場所に返してください。

4 送迎・駐車場について（※参照「広島広域公園での送迎・駐車についてお願い」）

- ・来場者はできる限り公共交通機関を利用し、車で来場される際は乗り合わせをお願いします。
- ・送迎、駐車は広域公園入口のアスファルトの駐車場を利用してください。駐車の際は駐車枠をはみ出さないようにしてください。
- ・バスを利用される場合はアスファルトの駐車場へ駐車してください。

5 観戦について（※参照「観戦・撮影について」）

- ・観戦エリアは正面スタンド全面とバックスタンド・サイドスタンドは最前列のみです。
- ・メインスタンドゴール側の記者席は使用できません。

6 撮影について

【以下の内容が遵守できない場合、警察へ通報をします。】

- ・メインスタンド中段通路より下の客席、スタート・ゴール付近、走高跳・棒高跳付近での撮影を禁止します。ただし、コーチングエリアでのコーチ・監督の撮影は可能とします。
- ・望遠レンズを使用した撮影は全面禁止とします。
- ・写真・動画の撮影はその選手の保護者、チーム・学校関係者のみとし、その他の選手が映りこまないよう注意してください。
- ・表彰される選手の関係者(保護者・所属団体)のみ表彰撮影可能エリアでの撮影は可能です。
- ・カメラ・ビデオ・携帯電話等での撮影について、大会関係者から撮影されたデータ等の提示を求められた際には、速やかに提示をお願いします。
- ・撮影した写真・動画などを、SNSやネットの動画サイトなどに掲載することを一切禁止とします。
- ・不審な行動を目撃された方は本部へご連絡ください。

※撮影については「観戦・撮影について」の図をご確認の上、マナーを守って撮影をお願いします。